



1月

# 学校だより

令和3年1月6日  
横浜市立八景小学校  
〒236-0021  
横浜市金沢区泥亀1-21-2  
TEL 045-781-2434  
校長

## ともに経験し、成長する

学校長

穏やかに新年をお迎えのことと思います。本年もよろしくお願いいたします。

さて、2020年は新型コロナで世の中も働き方や学び方も大きな変革を迎えた年でした。横浜市ではギガスクール構想の実現に向け、年末には各ご家庭に学習支援ツールであるロイロノート・スクールのIDとパスワードを配付しました。保護者の皆様にはロイロノート・スクールのダウンロード及びオンラインでの「提出カード」返信にご協力いただき、ありがとうございました。現在は横浜市教育委員会作成の学習動画を視聴することができますが、今後は臨時休校時の学習や学校と家庭との連絡などにも活用することができるようになる予定です。新型コロナ感染拡大の猛威に直面し、時代が大きく変わり、学校教育も変革が求められていることを実感します。

その一方、学校教育として大切にしていってほしいことも見えてきたように思います。

12月4日、6年生の鎌倉見学でのことです。今年度は例年夏に行っていた鎌倉見学も日光修学旅行もコロナの感染拡大で中止になり、6年生は悔しい思いをしていました。この日の企画は例年の予定にプラスして、鎌倉見学と鎌倉彫体験をした後、一度学校に帰校してから夕食を食べ、夜の校舎を使って子どもたちが企画したゲームを行うというものでした。担任から「学校内で『逃走中』をやりたいという声が出ています。」と聞かされた私は「校舎内を走るのは危険だから許可できない。」と伝えました。ある日私が学校内を回って6年生の教室に入ると、「校長先生に許可してもらうにはどうすればよいか」を話し合った板書の跡がありました。そしてしばらく日が経ってから、数人の6年生が校長室に交渉にやってきました。私が心配していることを踏まえて、走らずにできる工夫点を含めて自分たちが考えた案を説明してくれました。また実際にやってみたそうで、その行動力と説得力に驚き、「これなら安全に実施できる。」と納得して許可しました。当日は『逃走中』と『肝試し』の企画に多くの教職員も協力し、6年生は大盛り上がりでした。



【逃走中：早く助けに来て!!】

困難にぶつかっても人は人とかかわって学び、新しいことをつくり出し、ともに経験して成長する…その場が学校なのだということを実感しました。まだまだ新型コロナの感染拡大は予断を許さない状況ではありますが、できるときに、できることを、全力で取り組んでいきます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 12月の「人権週間」の取組と活動を紹介します

○1948年の第3回国連総会で採択された「世界人権宣言」を記念し、12月10日を「人権デー」として、世界中で記念行事を行うことが決議されました。そして、日本では12月4日から10日の1週間を「人権週間」と定めており、本校でも毎年12月には人権に関わる授業に取り組んでいます。

### 人権朝会

12月4日からの人権週間を前に、八景小学校では12月1日（火）に人権朝会を行いました。「なかよく えがおで きずなあふれる八景小」という学校の人権目標に対して、朝会では校長から「人権について」の話を聞いた後、本校の児童人権会議「スマイル会」の委員より、今年度の取組について報告がありました。

また、今年は通級指導教室担当から絵本『みえるとか みえないとか：ヨシタケシンスケ作』の読み聞かせがありました。本の中のメッセージ「おなじところを さがしながら ちがうところを おたがいに おもしろがれば いいんだね」ということを知ると共に、読み聞かせを通して、人によって「得意なこと」や「苦手なこと」が違うこと、同じ場面でも人によって感じる気持ちが違うこと、そして「いろいろな気持ち」があることなどに気づきました。

### 5・6年

高学年は「からかい」と「あおり」をテーマにして、高学年は学校生活の中で起きた実際の事例をもとに、スマイル委員のパネルディスカッションを聞きました。「どんなからかひやあおひを受けたことがあるのか。」「からかひを受けるとどんな気持ちになるのか。」「もしその場面に居合わせた時、あなたははどうするのか。」「『やめたほうがいいよ』って言えないのはなぜだろうか。」など、真剣な顔つきで討論を聞く姿が見られました。

今回の人権週間を通して、今までの自分の言動を振り返り、今後は他人事ではなく自分ごととして深く考えて、みんなが安心して楽しく過ごすことができる学校生活を目指していきます。



### 3・4年生

中学年は、「友達と仲良くかかわるためにはどのようにすればよいのか」ということについて考えました。友達と様々なかかわりを持ち始めるのが中学年です。中学年の「つい言動が乱暴になってしまう」「仲の良い人とグループを作る」「自分の気持ちを優先させてしまう」という特徴が自分にも当てはまる人がたくさんいました。そうした自分自身を知った上で、

- ・ 友達の話も聞いてあげよう
- ・ 友達のことをよく知ろう
- ・ 困ったら先生や周りの大人に相談しよう

という3つのことを提案しました。友達のことをよく知り、自分だけではなく相手の話にも耳をかたむけることが、「友達と仲良くかかわる」ことへの近道だということ呼びかけました。

### 1・2年

第2回なかよしスマイル会で1、2年生の各クラスから出された「困っていること」から、テーマを考えました。「悪口」「なかまはずれ」「あやまらない」という3つのことを、スマイル委員が低学年に分かりやすい劇で表現しました。

よくない事例を挙げて、「これで、いいのかな。」と問いかけ、その後のなかよくなった様子を発表し、まとめました。

みんなが楽しく、にこにこ笑顔で過ごせるようにしていくことを大切に、なかよく過ごすよう呼びかけました。低学年の子どもたちは、「よく考えてから言う。」「みんなで楽しくあそぶ」「自分からあやまる」など、考えることができ、日常生活でも意識をするようになりました。